

なごみつうしん

発行日：平成28年7月25日（第19号）

発行：島田療育センターはちおうじ

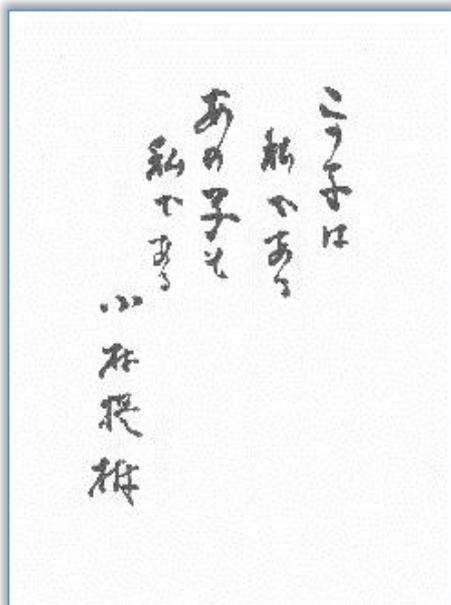
「幸せ」って、何だろう？考えれば考えるほどわからなくなります。
あなたの「幸せ」って何ですか？

所長 小沢 浩

～「幸せのかたち」～

この子は私である

あの子も私である

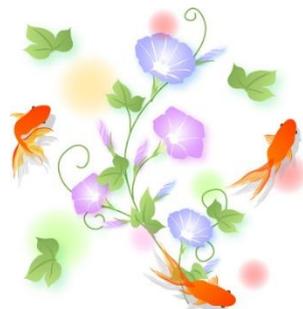


島田療育園初代園長小林提樹の言葉である。

障害と言われている人たちと私たちと何が違うのだろうか。何も違わない。分け隔てているのは、私たち自身である。

そのことをこの言葉は教えてくれている。

「幸せ」とは何だろうか。勉強ができて、いい大学入って、いい会社に入れば「幸せ」なのだろうか。そんなことはない。仕事につまずいて引きこもってしまったり、自ら大切な「いのち」を絶ってしまったりする人もいる。



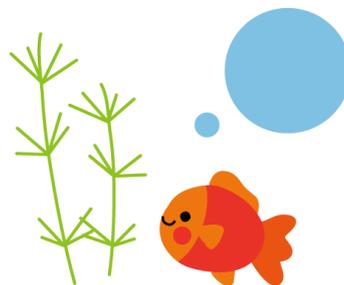
では、お金持ちが「幸せ」だろうか。そんなことはない。生活に必要なお金はないと困るが、お金がありすぎるとかえってそのお金が原因で不幸になることがいっぱいある。お金が人生の目的になってはいけない。お金は何かの目的を果たすための手段として必要なのである。

私の外来には「障害」といわれる個性をもった子どもたちとその家族が多くやってくる。子どもを中心として本当にうらやましいと思う、ほのぼのとした家族がいっぱい訪れる。

そこで改めて「幸せ」について考える。

「人はみな平等」

人はそう言う。でも、かけっこが遅い人はどんなに頑張ってもかけっこが一番になることはできない。私がか



っこでオリンピック選手になることはできない。才能は平等ではない。でも人は「幸せ」をつかむことはできる。「幸せ」とはつかみ取るものである。自分のおかれた環境の中で、感謝の気持ちを持ち「ありがとう」を伝え、その中から「幸せのかたち」を築していくものである。決して比べるものではない。

そういう意味で

「人はみな平等」

なのだと思う。

私たちはその「幸せ」の形を作っていくお手伝いをさせていただき、そこから私たちも幸せを分けてもらっているのだと思う。

(奇跡がくれた宝物 小沢浩著、クリエイツかもがわ より)

